

郷土文化財紹介

石造物シリーズ

＜上野・坂下の五輪塔群＞

苗木遠山史料館の千早研究員から「坂下は旧恵那郡の中では2、3番目に多くの五輪塔がある地域」と指摘されてから随分と経過しました。平成22年6月原寛氏健在なりし頃、郷土文化財保存会の前身である「ふるさと史資研坂下」会員10名ほどで坂下の五輪塔巡見を行いました。

西方寺遺跡に属する五輪塔が最も多く、今では西方寺跡、半僧坊、個人宅などとあちこちに分散して残されています。どれほどの数になるでしょうか。一説に100基近いと言われます。ここでは13世紀からの骨壺も多く出土しました。



←西方寺跡に整理された五輪塔群



↑西方寺跡の宝篋印塔

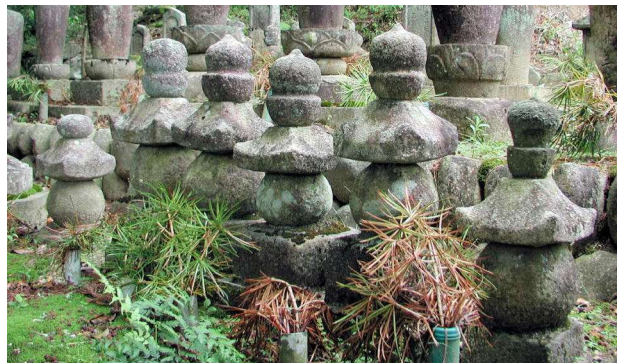
→西方寺跡から移動され半僧坊に並べられた五輪塔群



←西方寺跡から個人宅に移動された五輪塔

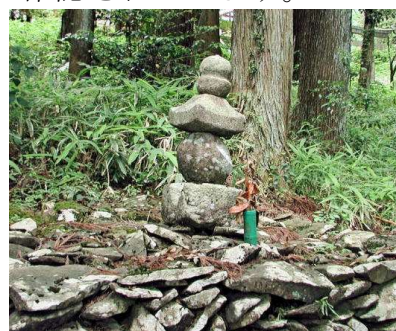


次いで三井寺遺跡に属するものです。この墓は盗掘団により荒らされました。そこから拾い出したものを組み立てて今は並べられています。20基位が確認できるでしょうか。

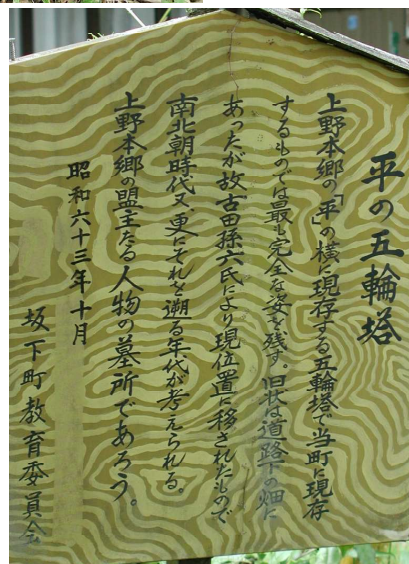


3番目が上野本郷地内でしょうか。あちこちに点在していますが、以下の写真以外にも10基位が確認されています。

→東光寺跡の五輪塔
まだ数基あるようです。



東光寺跡の向かい側古道の脇にある一石五輪塔。年号が刻まれていると聞く。←



外洞の奥地、黒沢の五輪塔群です。近くを古道が走り善光寺という寺があったと言われています。16世紀以降の灯明受皿数点が表採されました。



黒沢の五輪塔群 散らばっていたものを整頓したものと後数基あったか ←



高部観音堂脇に寄せられた石造物群の中に2基の五輪塔が確認されます。部品の寄せ集めたものですので、高部地内のどこかに数基があったのでしょう。



高部観音堂脇の五輪塔 空風火水土のうち水の部分がうつるのでこれで2基分である ←

以上主だった五輪塔を紹介しましたが、坂下の他の地区でも五輪塔があったと言われますし、その一部が転がっているのを確認できます。

五輪塔や宝篋印塔は中世の権力者の墓や供養塔です。中世の坂下には西方寺、三井寺など6ないし7寺があったようですし、木曽西古道、飛騨道を行き交う人達も多く武士や僧侶らが相当数住んでいたことが考えられるのではないのでしょうか。

苗木遠山史料館千早研究員が示された旧恵那郡内の輪塔発見数の表から抜粋したものを上げておきます。

地域名	五輪塔の数	宝篋印塔の数
長島	7 0	1 1
三郷	8 6	7
東野	5 4	4
明智	1 7	6
阿木	1 4	2
千旦林	3 5	5
駒場	1 7	1
苗木	1 2	1 8
福岡	1 0	1 7
坂下	7 0 余	3
上野	1 0 余	1